

市民アンケート調査結果－人口補正について－

1.人口補正の考え方

(1)アンケートサンプルの状況

・今年度実施のアンケートについては、実績人口と比較して、回答者の年齢階層、居住地に乖離が見られ、市全体の集計結果に下記のバイアスがかかる可能性がある。

<想定されるデータ上のバイアス>

- ・実績人口に対して、回答者の年齢階層は10代～30代のサンプルが不足、60代のサンプルが過剰な傾向

⇒一般的に通勤・通学等の日常の移動の主目的や移動距離、外出頻度等が若年世代と高齢世代では異なり、全体の結果が高齢者の傾向に寄ってしまう可能性がある

- ・実績人口に対して、居住地は見沼区、緑区、桜区、岩槻区等、比較的郊外の区でサンプルが不足の傾向

⇒一般的に、大宮区や浦和区のような鉄道駅周辺等に居住地が集積する都市部の比率が高いエリアと郊外部では、鉄道駅等の交通結節点や拠点エリアへの端末移動距離、居住者の勤務地が異なる傾向にあり、全体の結果に郊外部の傾向が十分に反映されない可能性がある

表 1-1 回答者の属性、居住地のサンプル数と実績人口の比較

	実績値		構成比		
	R6.6住基台帳人口	回収サンプル	R6.6住基台帳人口	回収サンプル	差分
10代以下	230,716	33	17.1%	3.7%	-13.4%
20代	154,144	49	11.4%	5.5%	-5.9%
30代	170,918	103	12.7%	11.5%	-1.1%
40代	192,954	168	14.3%	18.8%	4.5%
50代	209,131	168	15.5%	18.8%	3.3%
60代	142,860	173	10.6%	19.4%	8.8%
70代以上	248,493	198	18.4%	22.2%	3.8%

	実績値		構成比		
	R6.6住基台帳人口	回収サンプル	R6.6住基台帳人口	回収サンプル	差分
西区	95,650	74	7.1%	7.9%	0.9%
北区	150,671	111	11.2%	11.9%	0.7%
大宮区	125,689	87	9.3%	9.3%	0.0%
見沼区	165,416	114	12.3%	12.2%	-0.0%
中央区	103,118	78	7.6%	8.4%	0.7%
桜区	96,758	62	7.2%	6.7%	-0.5%
浦和区	169,790	136	12.6%	14.6%	2.0%
南区	195,297	133	14.5%	14.3%	-0.2%
緑区	134,419	79	10.0%	8.5%	-1.5%
岩槻区	112,408	58	8.3%	6.2%	-2.1%

(2)人口補正をするカテゴリー

- ・これらのバイアスを考慮し、回答者の年齢、居住地による影響が想定される項目については、サンプル数を人口構成比と整合させる補正係数の設定を検討する。
- ・アンケートのサンプル数については、男女別・年代別回答数では、10代や90代などサンプル数が極端に少ないカテゴリーがあり、補正結果が大きくゆがむ可能性が確認された。
- ・また、男女・年齢別に加え、居住地（区）別のサンプル数については、サンプル数が取得できていないカテゴリーが存在し、居住地での補正が難しいことが確認された。
- ・そのため、人口補正を行うカテゴリーとして下記を設定した。

<人口補正のカテゴリー>

- ・補正のカテゴリーは年代を東ね以下の8区分とする。
男女×年代（10～20代/30～40代/50～60代/70歳以上）
- ・無回答は人口補正集計の対象外

表 1-2 性別・年代別アンケートサンプル数

	さいたま市			合計
	男性	女性	無回答	
10代	13	19	1	33
20代	23	25	2	50
30代	32	69	2	103
40代	59	108	1	168
50代	51	113	4	168
60代	72	99	2	173
70代	49	73	1	123
80代	33	34	2	69
90代	4	2	0	6
無回答	16	29	121	166
合計	352	571	136	1,059

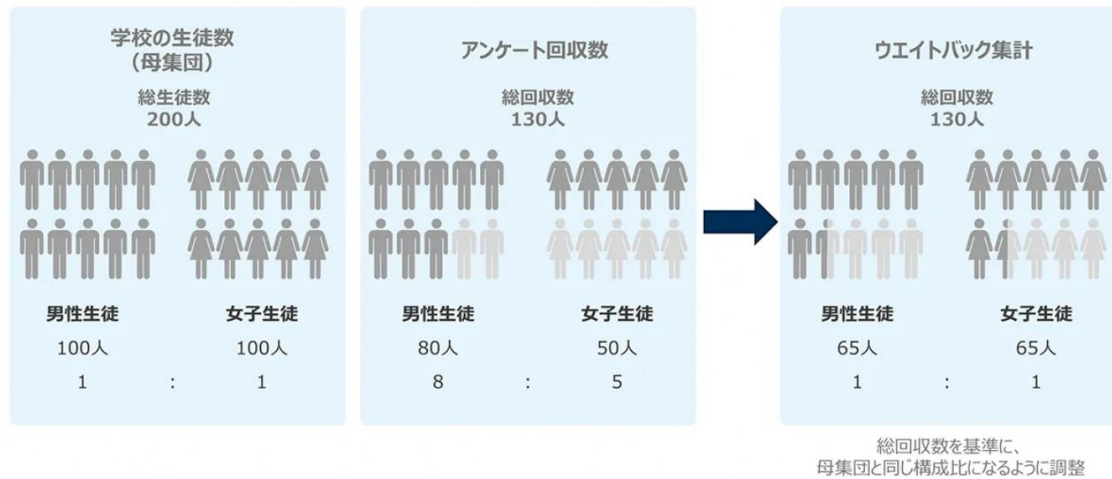
表 1-3 性別・年代別・居住地（区）別アンケートサンプル数

	西区				合計	北区				合計	大宮区				合計	見沼区				合計	中央区				合計
	男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答		
10代	2	1	1		4	5	1			6		3			3	1	1			2		3			3
20代	3	2			5	3	5			8	1	4			5	5	3			8	2				2
30代	1	9			10	3	6			9	5	5			10	1	9			10	2	5			7
40代	3	8			11	5	12			17	5	9			14	11	9	1		21	6	11			17
50代	2	10	1		13	3	11	1		15	9	11			20	4	13			17	6	11	1		18
60代	2	6	1		9	14	15			29	4	11	1		16	13	12			25	4	4			8
70代	4	5			9	3	7			10	3	9			12	7	8			15	5	5	1		11
80代	2	6			8	1	4			5	5				5	8	2			10	2	5			7
90代	3	1			4					0					0		1			1					0
無回答	1				1	5	6	1		12		2			2	2	3			5	2	3			5
合計	23	48	3		74	42	67	2		111	32	54	1		87	52	61	1		114	29	47	2		78

	桜区				合計	浦和区				合計	南区				合計	緑区				合計	岩槻区				合計	不明				合計
	男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答			男性	女性	無回答		
10代					0	2	4			6		2			2	3	2			5		2			2					0
20代	1	1			2	2	2			4	4	7			11			1		1	1	1			2	1			1	2
30代	1	2			3	6	8			14	7	10	1		18	6	9			15		6	1		7					0
40代	10	6			16	8	20			28	8	20			28	2	9			11	1	4			5					0
50代	1	12			13	6	12			18	7	15	1		23	7	11			18	6	7			13					0
60代	4	5			9	13	17			30	8	16			24	5	10			15	5	3			8					0
70代	3	4			7	10	9			19	6	10			16	3	9			12	5	6			11		1			1
80代	5	3			8	3	6			9	1	4			5	2				2	4	4			8			2		2

(3)補正係数の設定

- ・人口補正では、回収されたサンプルを母集団（住民基本台帳人口実績値）の構成に合わせて集計するウエイトバック集計を実施するため、補正を行う各区分に補正係数を設定する。



資料：クロス・マーケティングホームページ

図 1-1 ウエイトバック集計のイメージ

- ・ウエイトバック集計の補正值として、年齢階層・男女区分別の住民基本台帳の人口比より補正したアンケートサンプル数を算出する。そのうえで、人口補正サンプル数を実績のサンプル数で除すことで、補正係数を設定する。

(人口補正サンプル数) =

(アンケートサンプル数計:878 件) × (年齢階層・男女区分別人口構成比:住基台帳)

(補正係数) =

(年齢階層・男女区分別補正サンプル数) ÷ (年齢階層・男女区分別サンプル数)

表 1-4 人口補正係数の設定結果

年代	R6(2024)年		R2(2020)年		H26(2014)年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10～20代	2.75	2.18	2.05	1.54	0.85	0.72
30～40代	1.45	0.71	1.71	0.82	2.05	0.80
50～60代	1.03	0.58	0.98	0.64	1.43	0.73
70才以上	0.88	0.92	0.74	0.82	1.85	0.92

表 1-5 人口補正係数の設定結果(R6 年)

実績値								
年代	アンケート				R6.7月住民基本台帳人口			
	サンプル数④		構成比		サンプル数		構成比②	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10～20代	36	44	4%	5%	139,567	135,264	11%	11%
30～40代	91	177	10%	20%	186,165	177,707	15%	14%
50～60代	123	212	14%	24%	179,356	172,635	14%	14%
70才以上	86	109	10%	12%	106,786	141,120	9%	11%
合計①	878		100%		1,238,600		100%	
	人口補正サンプル数③ (①×②)		補正係数 (③÷④)					
	男性	女性	男性	女性				
10～20代	99	96	2.75	2.18				
30～40代	132	126	1.45	0.71				
50～60代	127	122	1.03	0.58				
70才以上	76	100	0.88	0.92				
合計	878							

表 1-6 人口補正係数の設定結果(R2 年)

実績値								
年代	アンケート				R2.10月住民基本台帳人口			
	サンプル数④		構成比		サンプル数		構成比②	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10～20代	122	157	6%	7%	137,690	133,082	11%	11%
30～40代	206	408	9%	19%	194,150	184,678	16%	15%
50～60代	306	451	14%	21%	165,533	158,517	14%	13%
70才以上	251	296	11%	13%	101,994	134,057	8%	11%
合計①	2,197		100%		1,209,701		100%	
	人口補正サンプル数③ (①×②)		補正係数 (③÷④)					
	男性	女性	男性	女性				
10～20代	250	242	2.05	1.54				
30～40代	353	335	1.71	0.82				
50～60代	301	288	0.98	0.64				
70才以上	185	243	0.74	0.82				
合計	2,197							

表 1-7 人口補正係数の設定結果(H26 年)

実績値								
年代	アンケート				H26.11月住民基本台帳人口			
	サンプル数④		構成比		サンプル数		構成比②	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10～20代	402	451	14%	15%	133,953	127,158	12%	11%
30～40代	247	596	8%	20%	199,789	188,792	17%	16%
50～60代	277	532	9%	18%	155,658	152,765	14%	13%
70才以上	113	298	4%	10%	82,407	107,700	7%	9%
合計①	2,916		100%		1,148,222		100%	
	人口補正サンプル数③ (①×②)		補正係数 (③÷④)					
	男性	女性	男性	女性				
10～20代	340	323	0.85	0.72				
30～40代	507	479	2.05	0.80				
50～60代	395	388	1.43	0.73				
70才以上	209	274	1.85	0.92				
合計	2,916							

(4) 人口補正を確認するアンケート項目

- ・人口によるアンケート結果の補正として、基本的な自転車利用に関わる項目と施策の評価については、経年比較が可能な項目を H26、R2、R6 年度で確認する。
- ・合わせて、自転車の利用状況の目的等の詳細、新たに質問項目を設定したルール・啓発関連の取組評価、まちづくりの方向性について、R6 年度の補正結果を確認する。

表 1-8 人口補正を実施する項目

※オレンジ網掛けを対象に経年の補正結果、緑網掛けを対象に R6 年の補正結果を確認

			属性バイアス	施策方針への影響
1.自転車の利用状況	Q1	保有している自転車の種類		
	Q2	自転車利用の有無	●	●
	Q3	自転車利用の目的	●	●
	Q4_1	利用日数（目的別）	●	●
	Q4_1	目的地までの距離（目的別）	●	●
	Q4_1	行っても良いと思う距離	●	●
	Q4_2	自転車利用の理由	●	●
	Q4_3	駐輪場所		
	Q4_3	利用時間		
	Q4_3	空き状況		
	Q5	自転車を使わない理由	●	●
	Q6	健康づくり等のための場所の充足		
	Q7	自転車をつかう条件	●	●
	Q8	運転免許の保有	●	
2.クルマの利用状況	Q9	自由に使えるクルマの有無		
	Q10	クルマの利用頻度	●	●
	Q11	自転車で行っても良い距離以下でのクルマの利用目的	●	●
	Q12	運転免許返納後の交通手段		●
	Q13	クルマが利用できる場合の交通手段		
	Q14_1	通行環境・駐輪環境の満足度	●	●
3.市の自転車施策	Q14_2	自転車の安全利用の満足度	●	●
	Q14_3	ルール・マナーの満足度	●	●
	Q14_4	情報提供の満足度	●	●
	Q14_5	市の取組への満足度	●	●
	Q15	市に力を入れて欲しい取組	●	●
	Q16_1	シェアサイクルの利用有無		
	Q16_2	シェアサイクルを利用しない理由		●
	Q17_1	知っている交通ルール		
	Q17_1	守っている交通ルール		
	Q17_2	ルールの教育・啓発・周知で効果的な取り組み		●
	Q18	ヘルメットの着用有無		
	Q18_1	ヘルメットを着用しない理由		
	Q19_1	今後の自転車レーン整備の希望		
	Q19_2	自転車レーンの整備を希望する箇所		
	Q19_3	自転車レーン整備の重要度	●	●
	Q19_4	有効な安全対策	●	●
	Q19_5	クルマの通行の制約	●	●
	Q20	自転車活用によるまちづくりの方向性	●	●

2. 人口補正結果の概要

- ・人口補正を行ったアンケート結果では、概ね下記の傾向が確認された。
 - ✓ 人口補正により、結果の順序の入れ替えや、大きく傾向が変わる項目はなし
 - ✓ 一部の項目で、若年世代の意見割合が高くなった影響がうかがえるが、概ね傾向は変わらない

表 2-1 人口補正による主な影響

	人口補正による主な確認結果
自転車の利用状況	・自転車利用の目的として、R6 はスポーツやサイクリング等の比較的若い世代に期待される目的の構成比が若干向上、通院が低下
	・自転車で行っても良い距離は、子どもの送迎でより近距離での割合が高くなる等、子育て世代の意見が影響したことがうかがえる
取り組みへの評価	・R6 年度は全体的に取組への満足の評価の割合が向上する

3.補正集計結果

3-1 経年比較

(1)自転車の利用状況

1) 自転車利用の有無

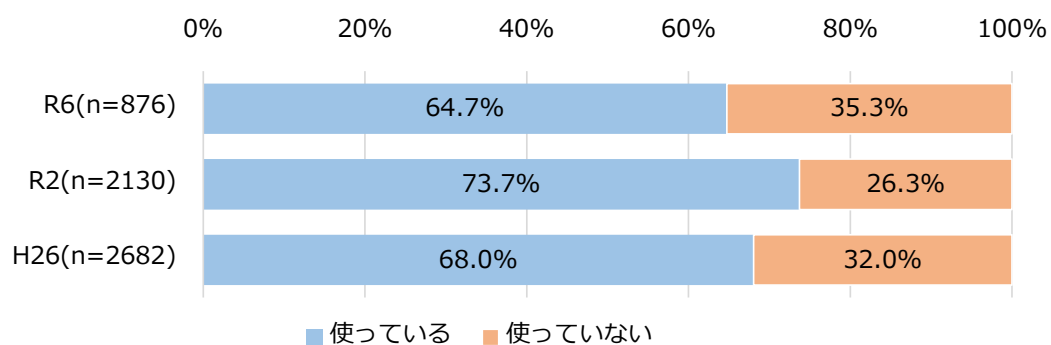


図 3-1 自転車利用の有無(人口補正結果)

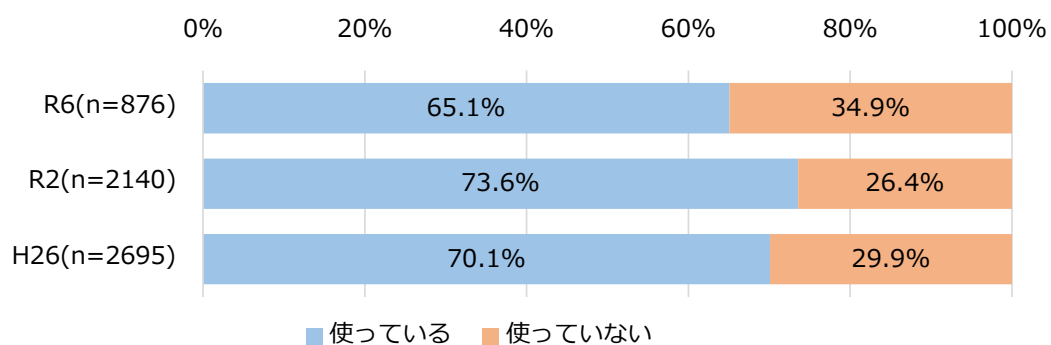


図 3-2 自転車利用の有無(実績値)

2) 自転車利用の目的

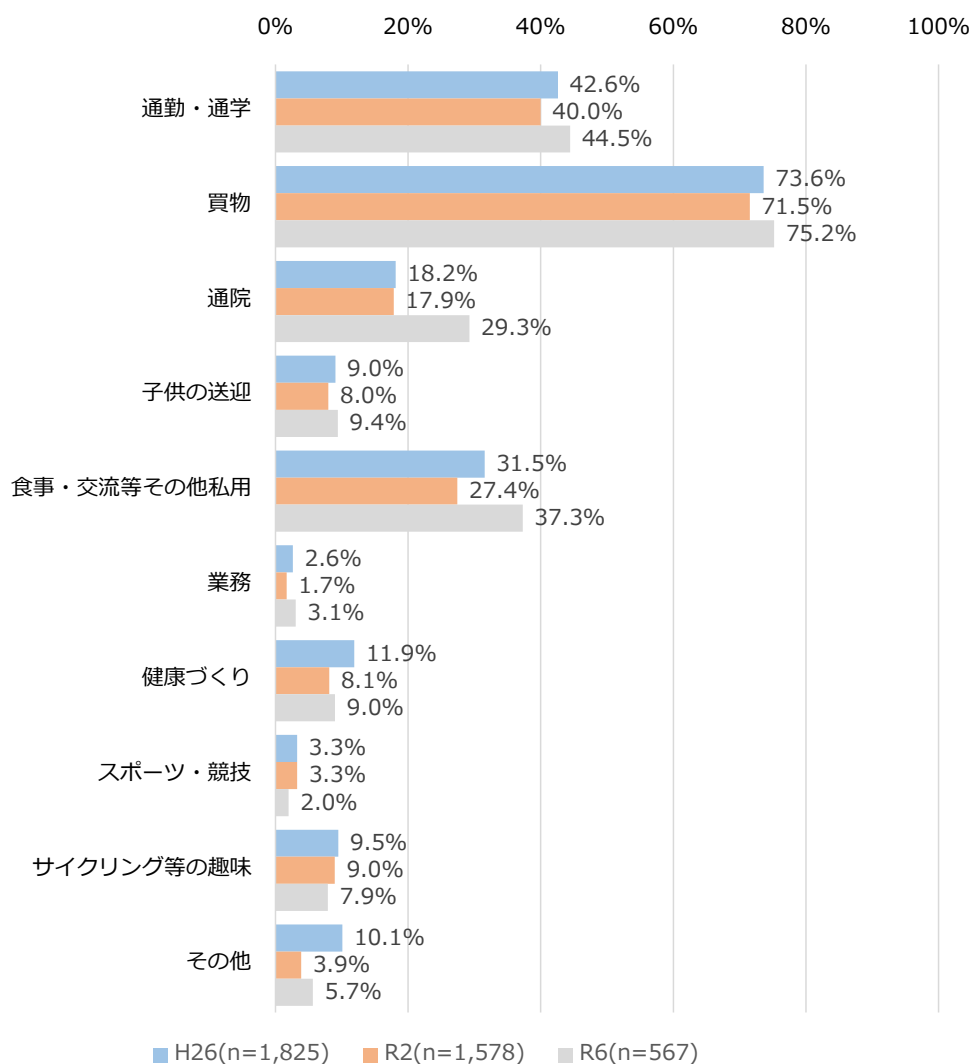


図 3-3 自転車利用の目的(人口補正結果)

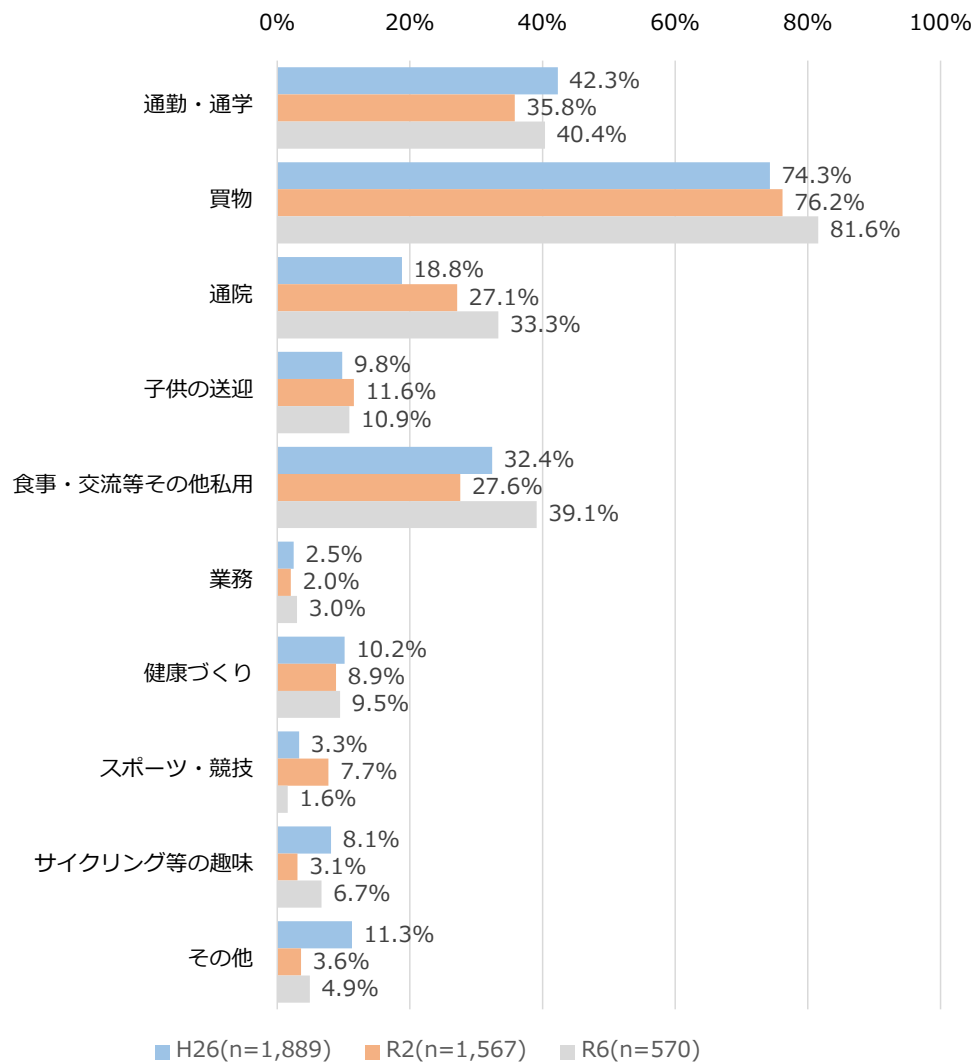


図 3-4 自転車利用の目的(実績値)

(2)市の自転車施策への評価

1) 通行環境・駐輪環境の満足度

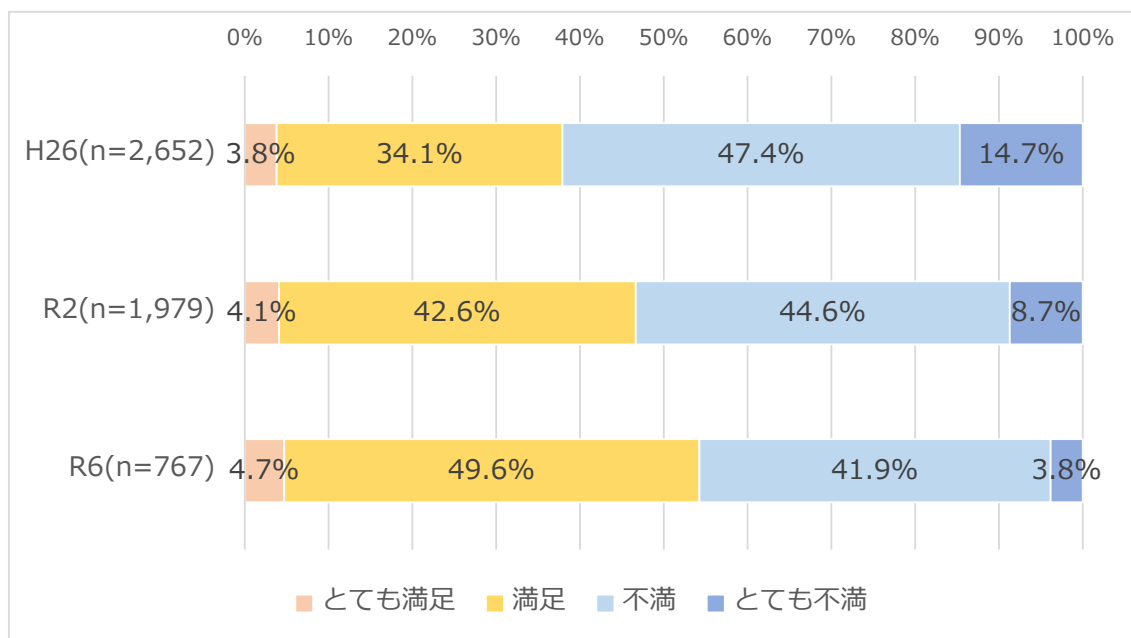


図 3-5 通行環境・駐輪環境の満足度(人口補正結果)

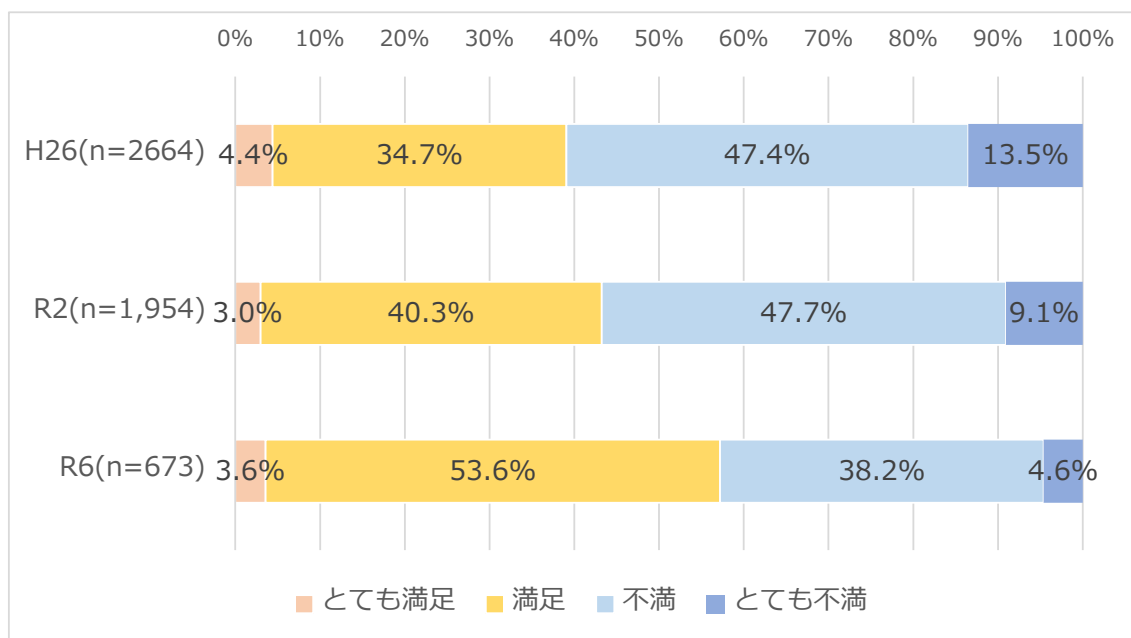


図 3-6 通行環境・駐輪環境の満足度(実績値)

2) 自転車の安全利用の満足度

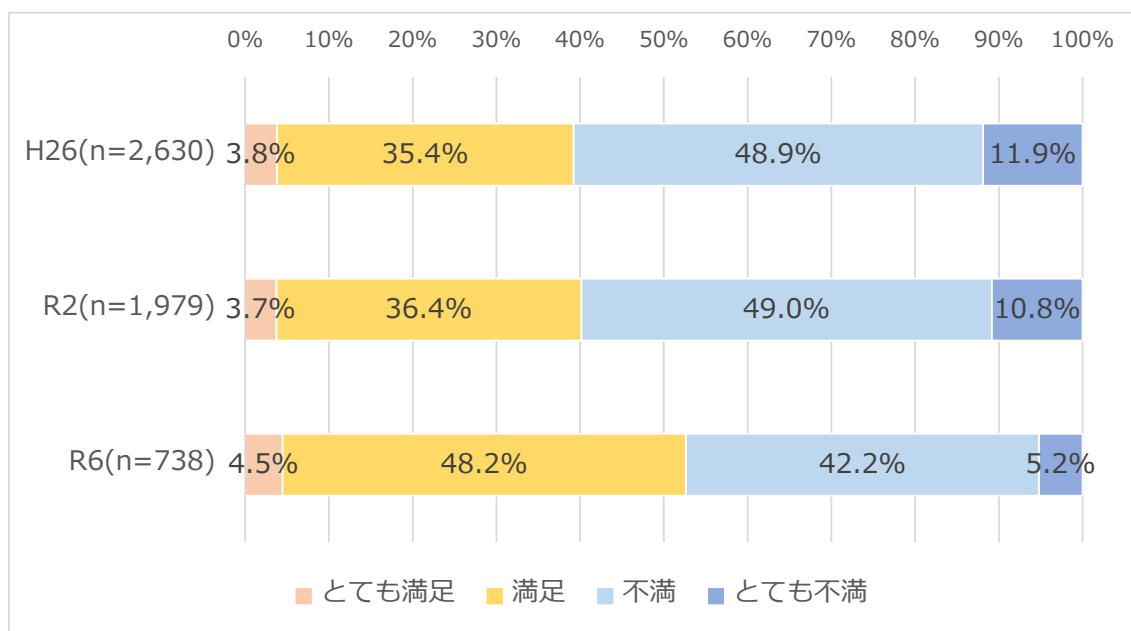


図 3-7 自転車の安全利用の満足度(人口補正結果)

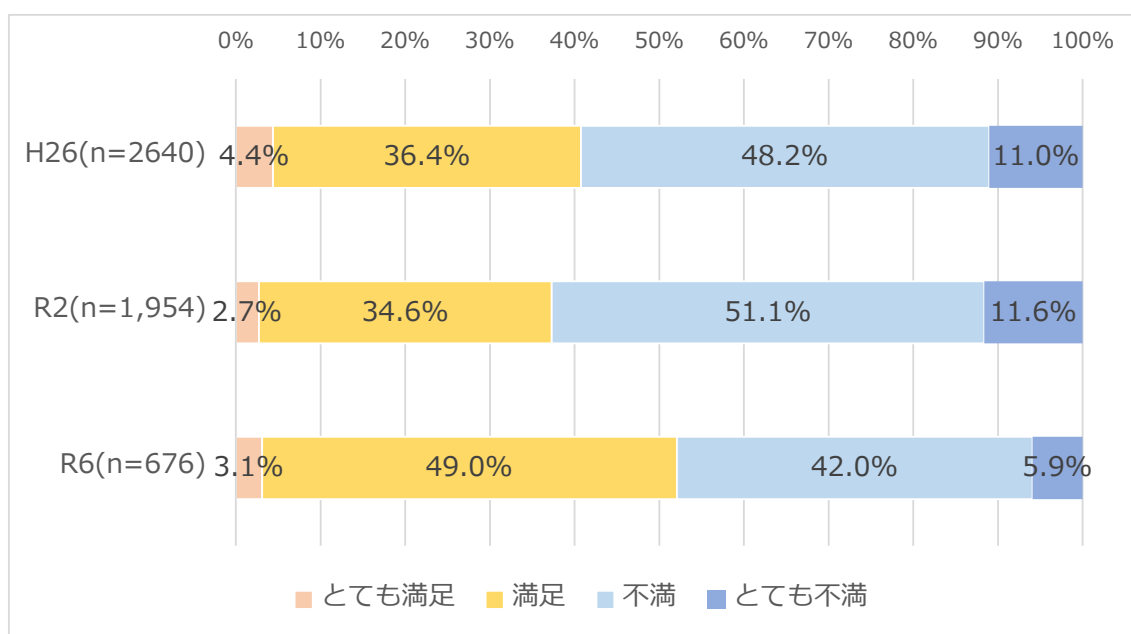


図 3-8 自転車の安全利用の満足度(実績値)

3) ルール・マナーの満足度

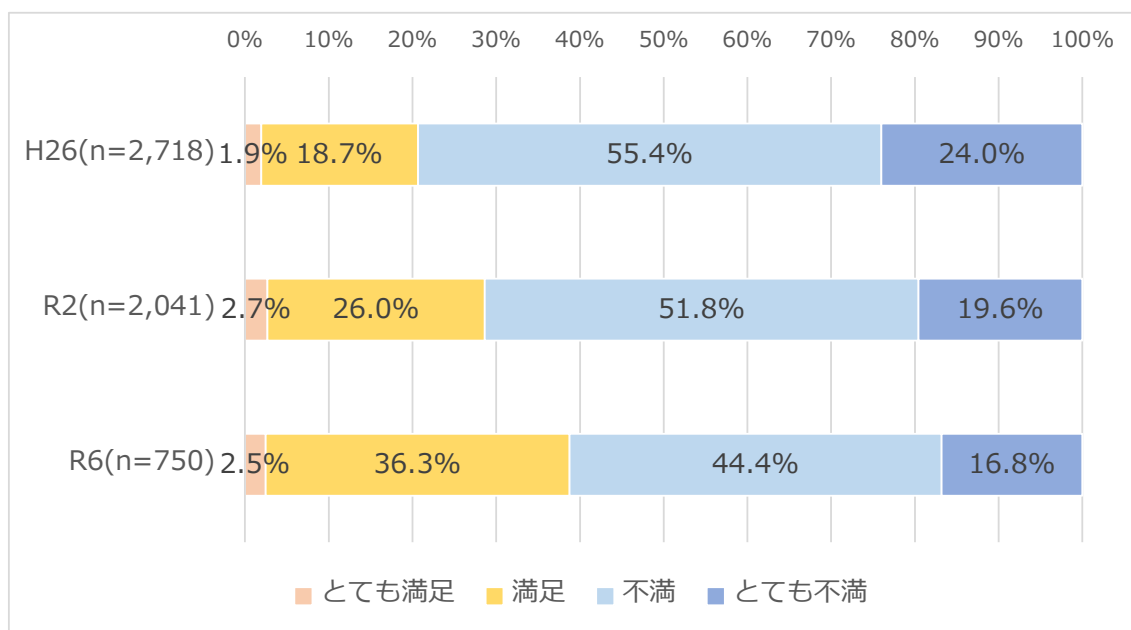


図 3-9 ルール・マナーの満足度(人口補正結果)

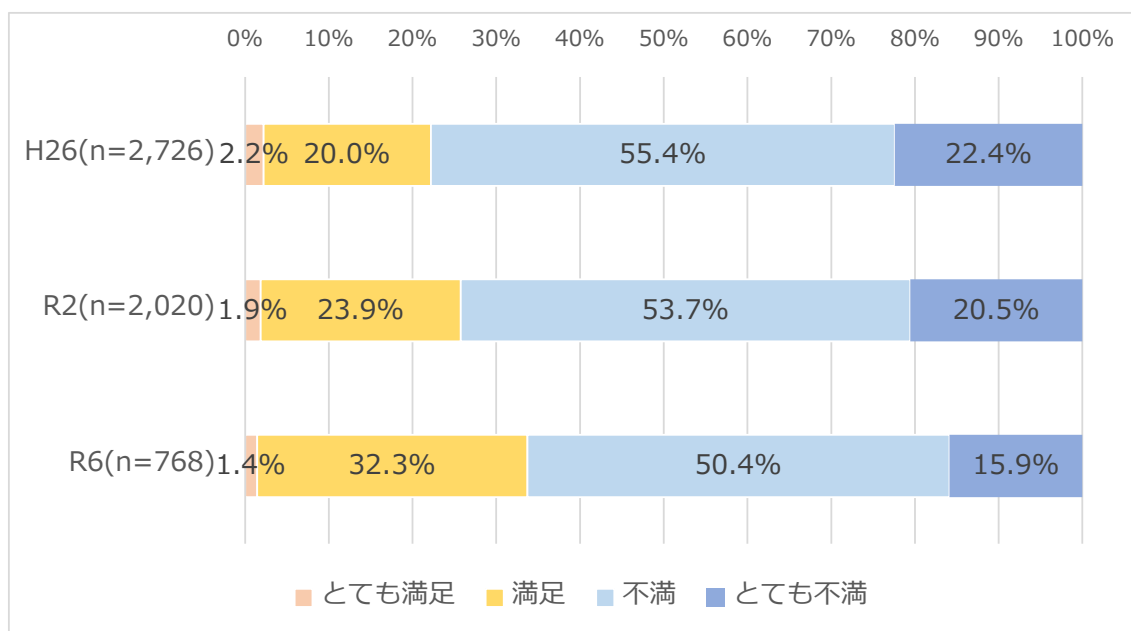


図 3-10 ルール・マナーの満足度(実績値)

4) 市の情報提供の満足度

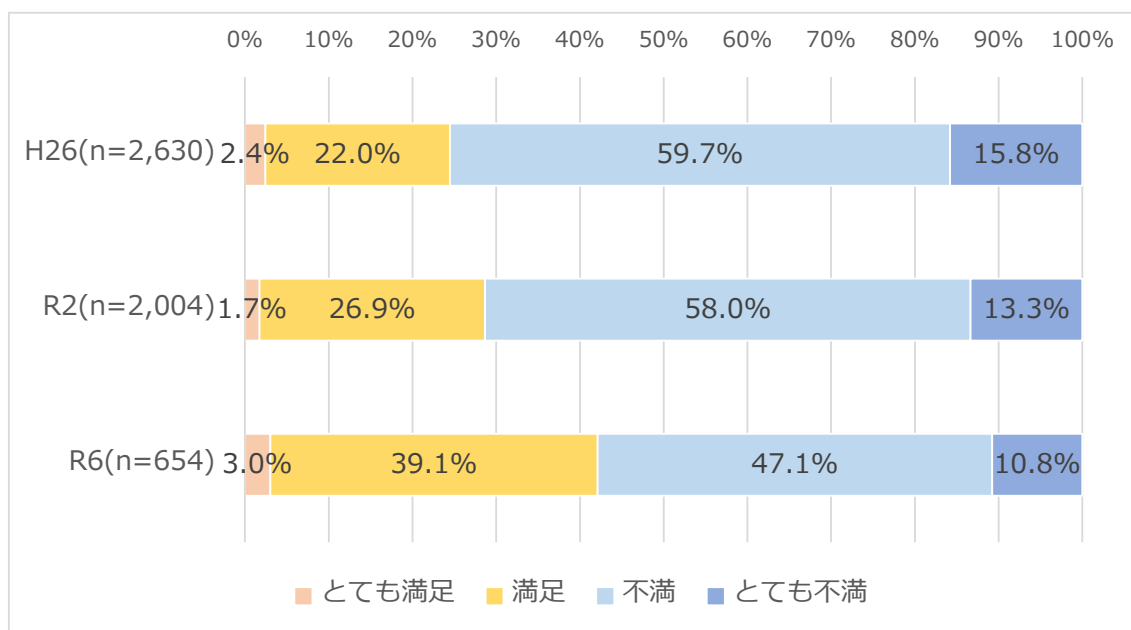


図 3-11 市の情報提供の満足度(人口補正結果)

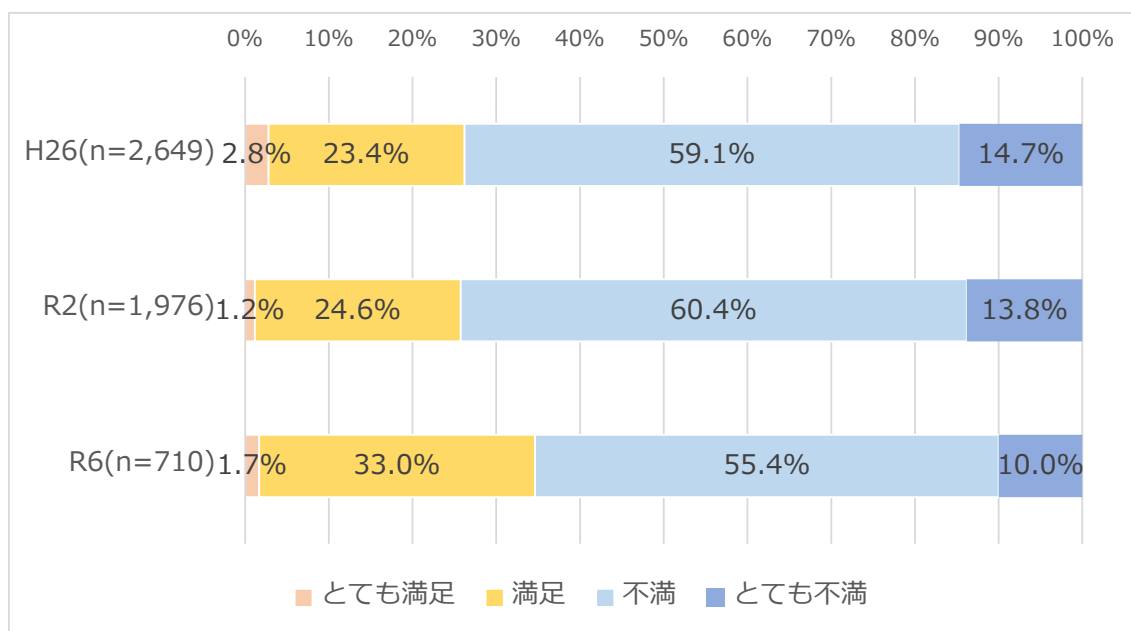


図 3-12 市の情報提供の満足度(実績値)

5) 市の取組の満足度

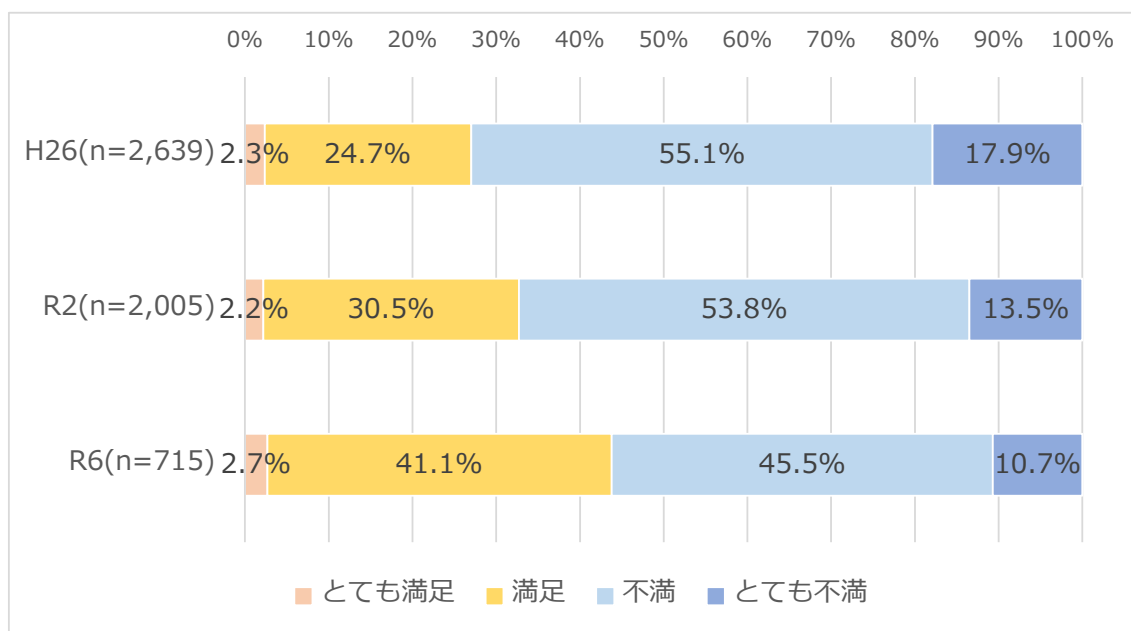


図 3-13 市の取組の満足度(人口補正結果)

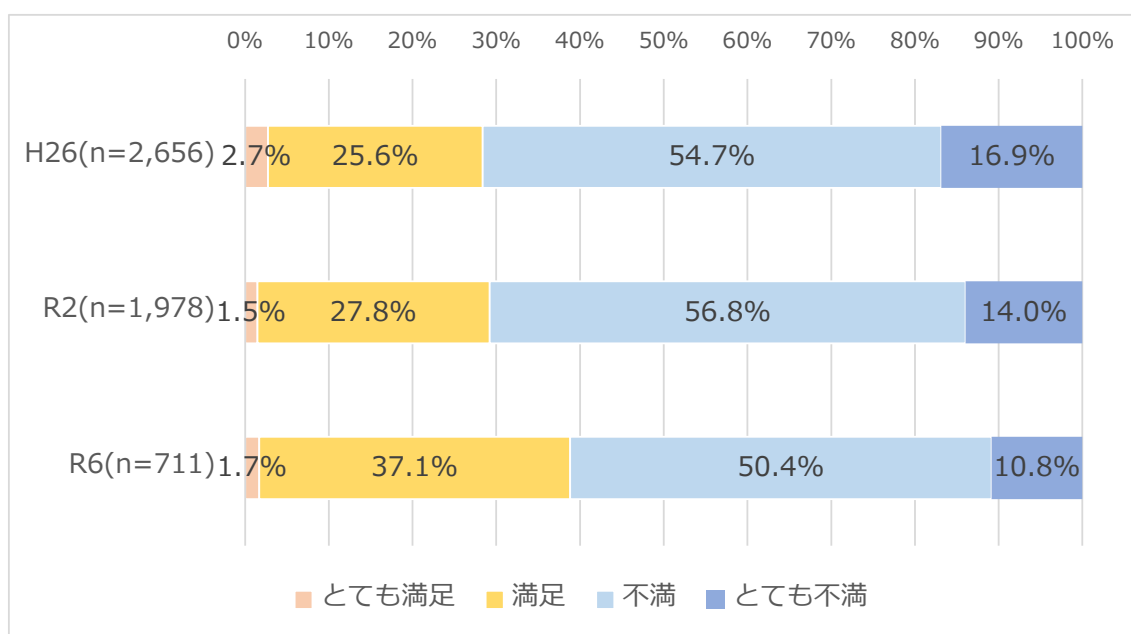


図 3-14 市の取組の満足度(実績値)

3-2 R6年度結果

(1)自転車の利用状況

1) 目的別利用日数

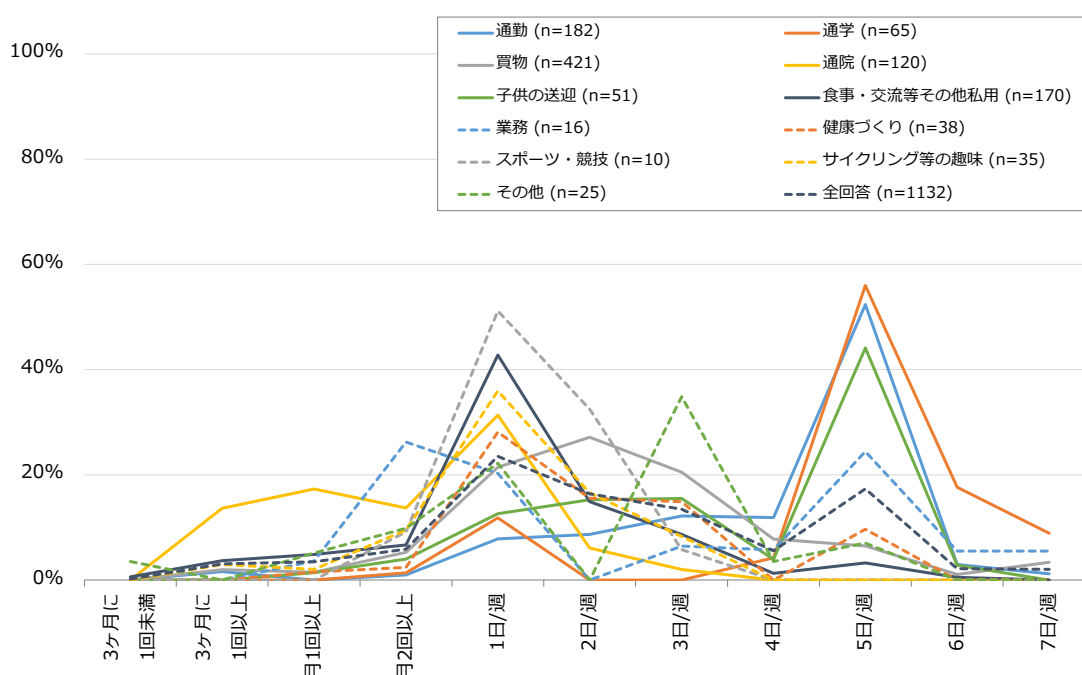


図 3-15 目的別自転車利用日数(人口補正結果)

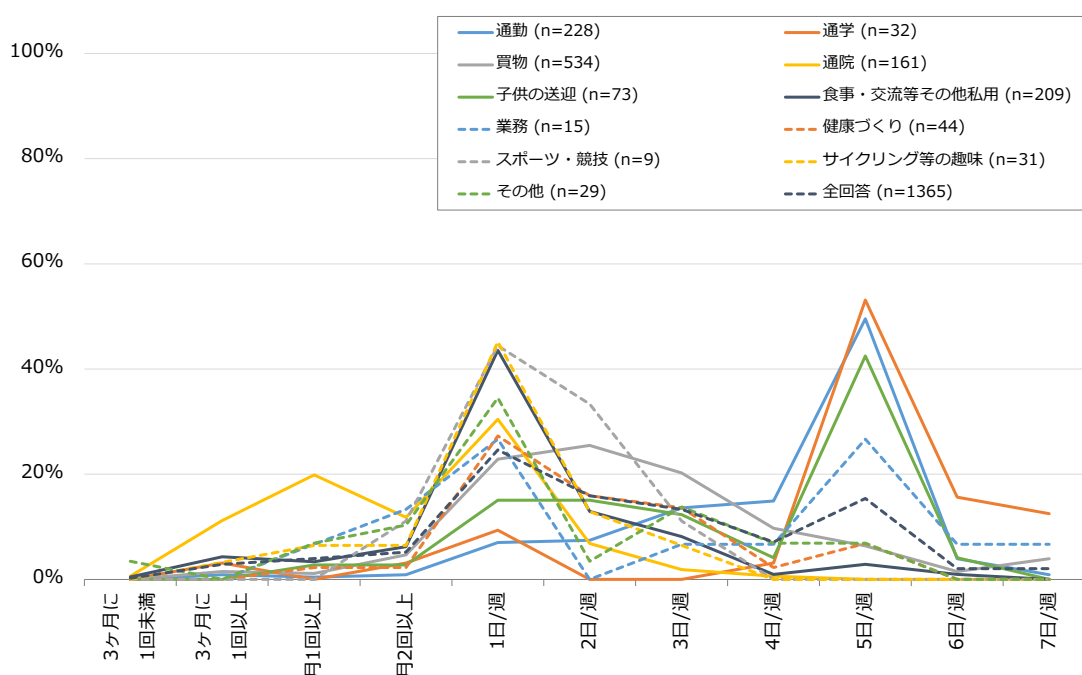


図 3-16 目的別自転車利用日数(実績値)

2) 自転車で行っても良いと思う距離

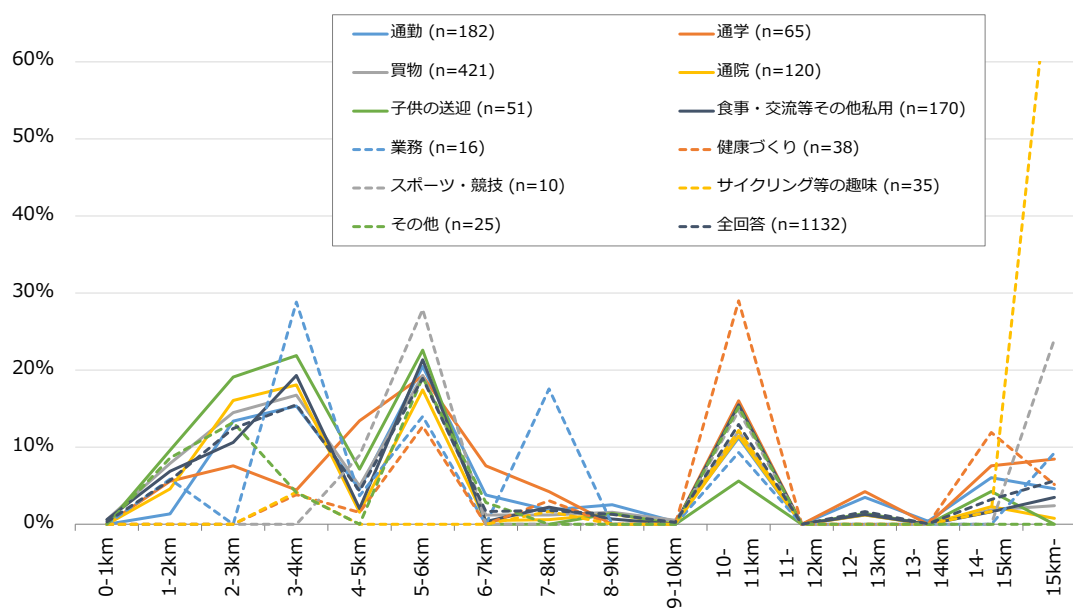


図 3-17 自転車で行っても良いと思う距離(人口補正結果)

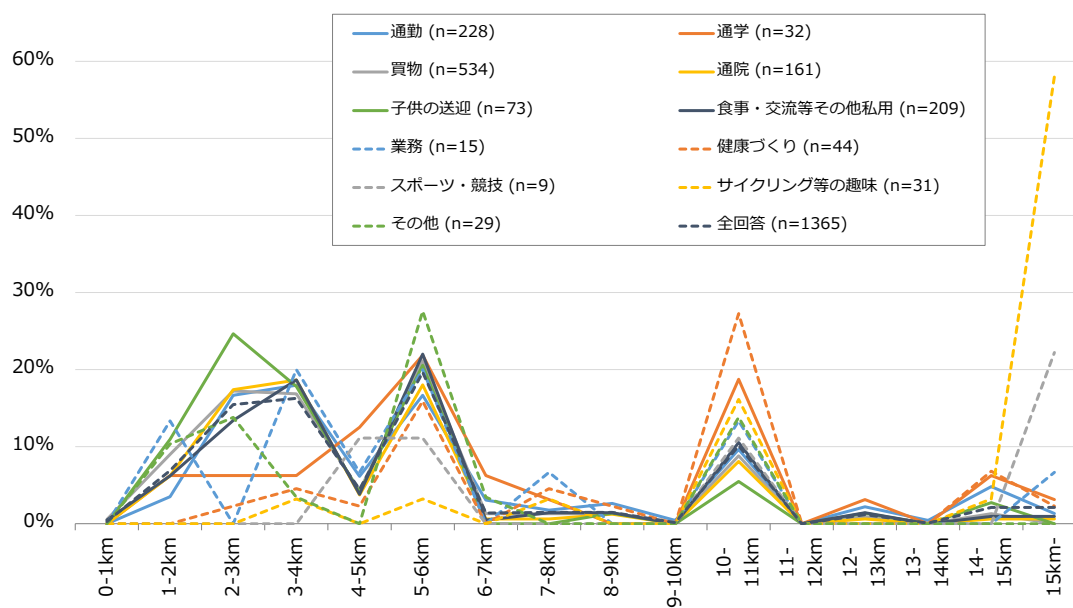


図 3-18 自転車で行っても良いと思う距離(実績値)

3) 自転車利用の理由

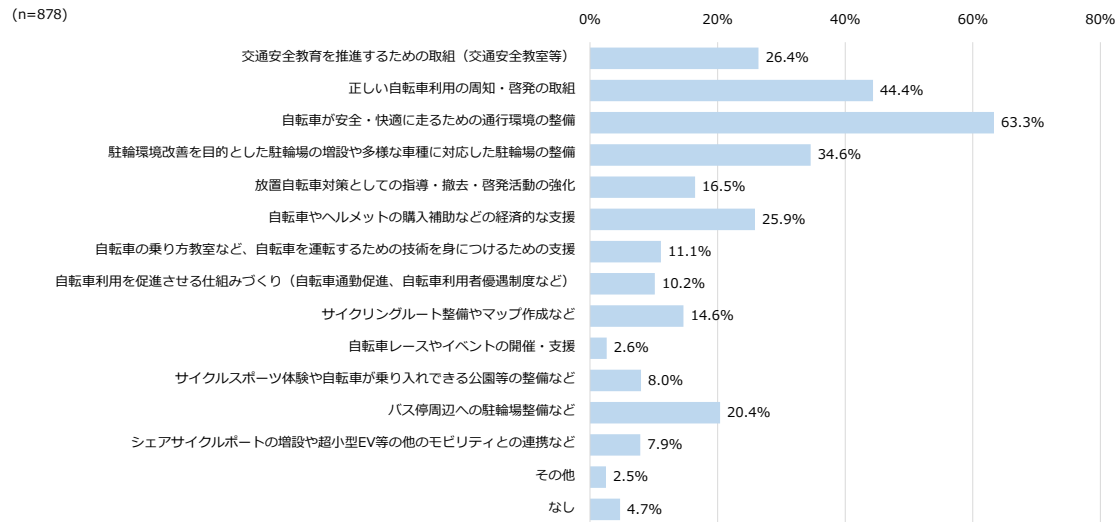


図 3-19 自転車利用の理由（人口補正結果）

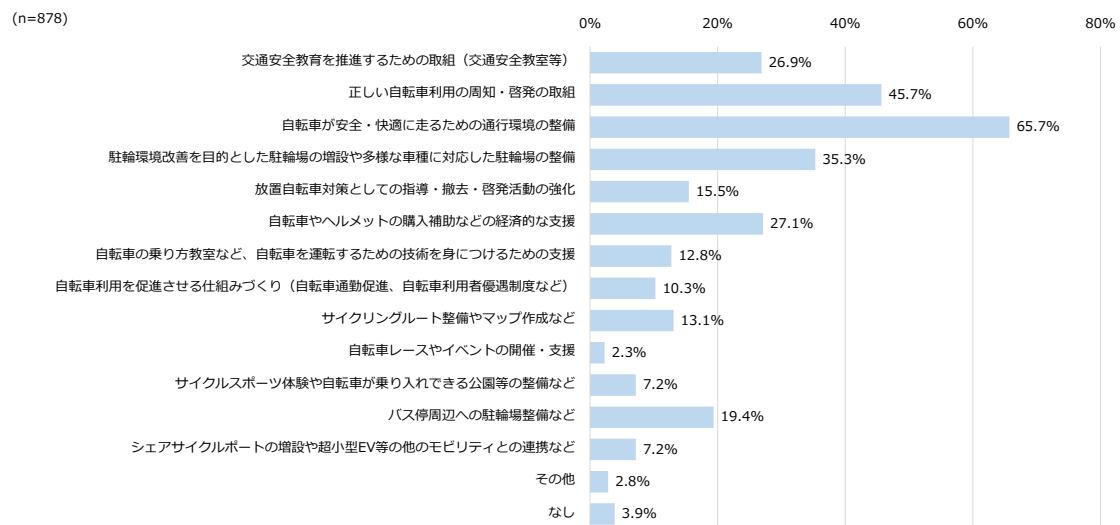


図 3-20 自転車利用の理由（実績値）

(2)市の自転車施策への評価

1) 知っている・守っている交通ルール

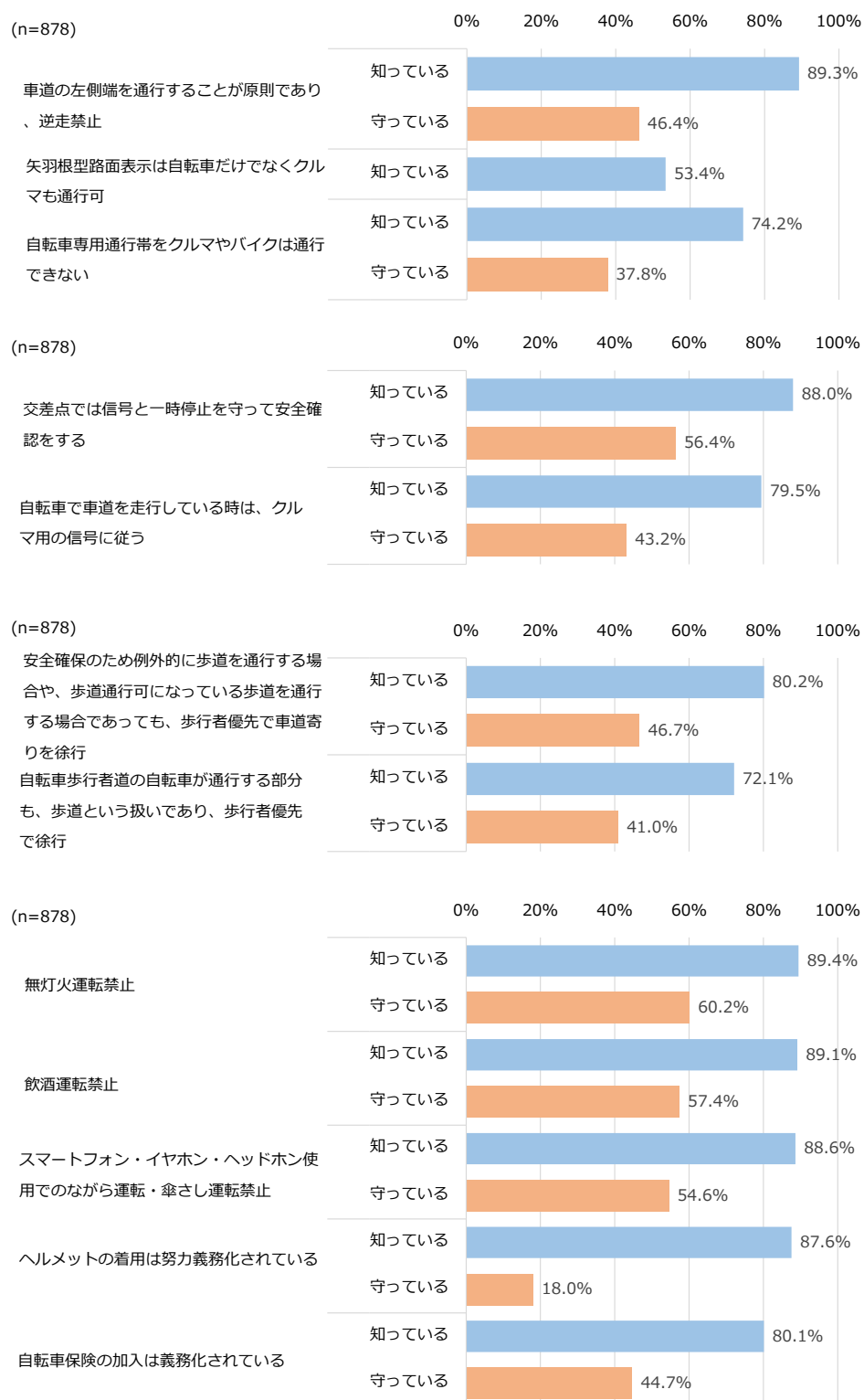


図 3-21 知っている・守っている交通ルール(人口補正結果)

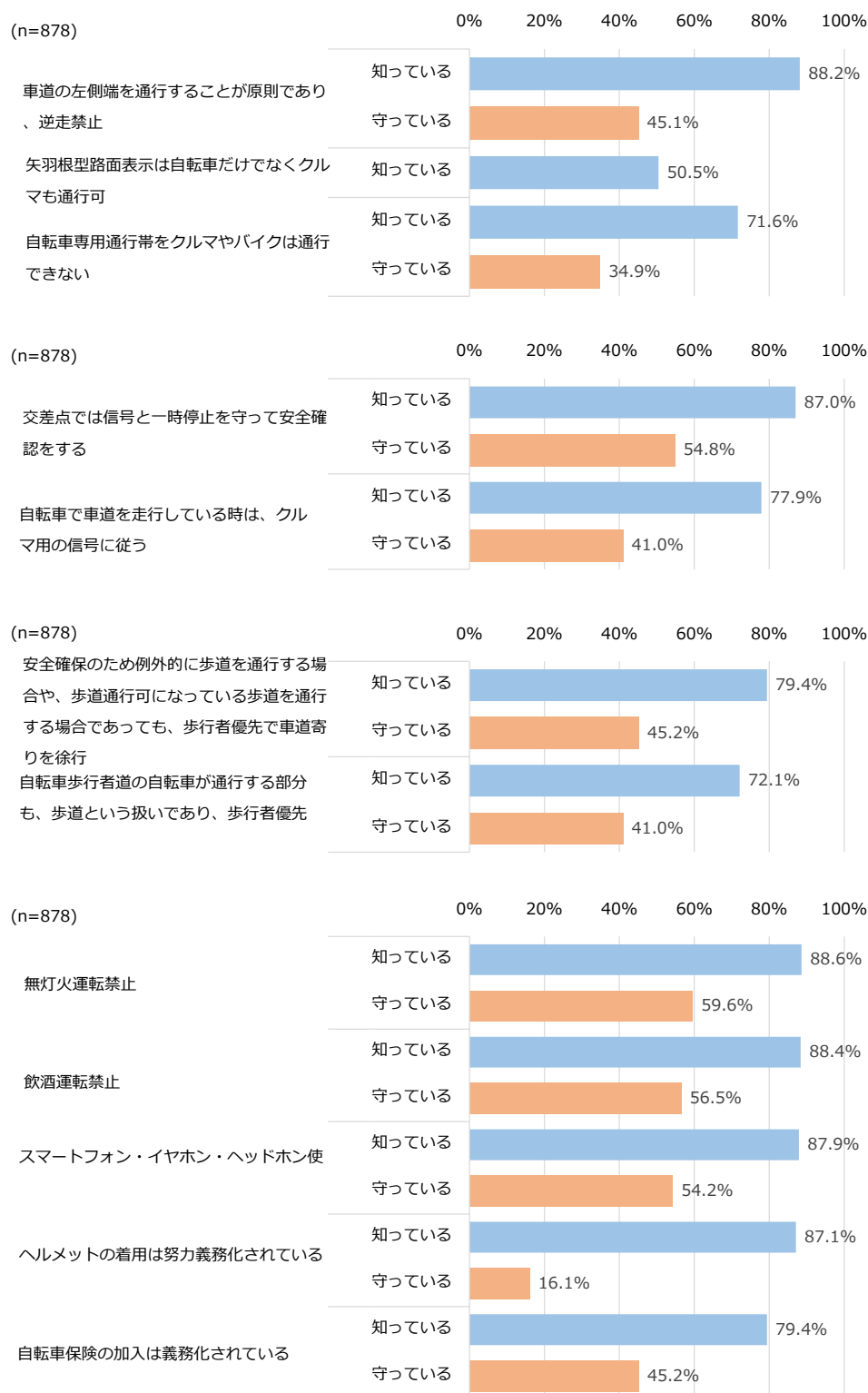


図 3-22 知っている・守っている交通ルール(実績値)

2) ルールの教育・啓発・周知で効果的な取組

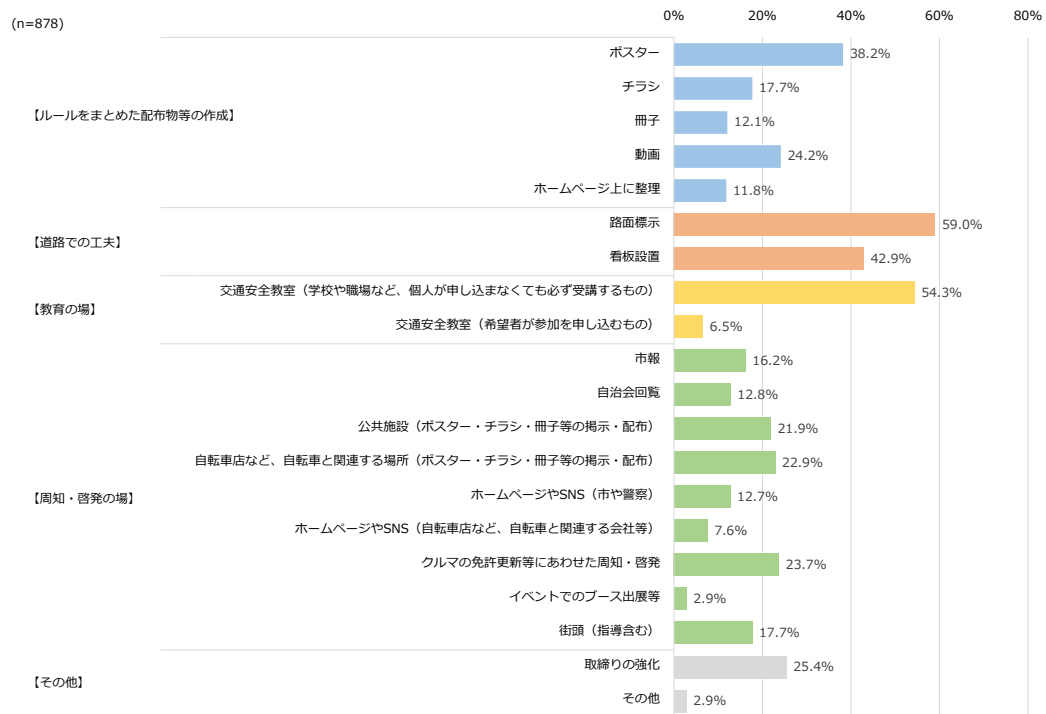


図 3-23 ルールの教育・啓発・周知で効果的な取組（人口補正結果）

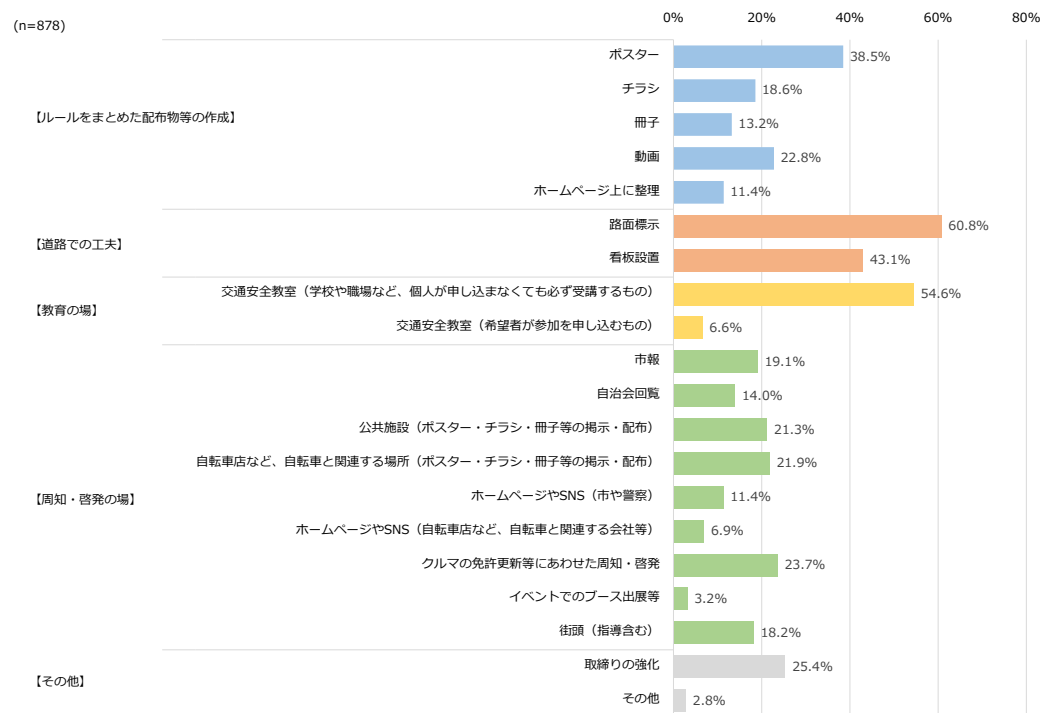


図 3-24 ルールの教育・啓発・周知で効果的な取組（実績値）

3) ヘルメットの着用有無

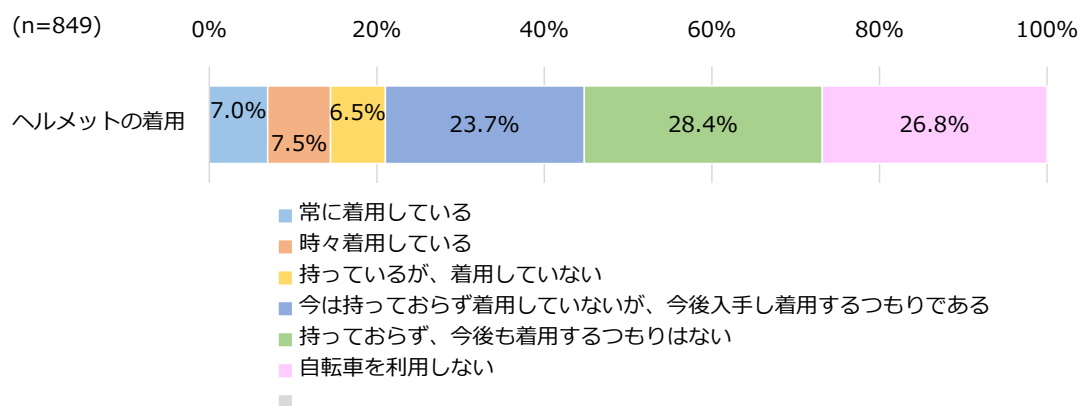


図 3-25 ヘルメットの着用有無(人口補正結果)

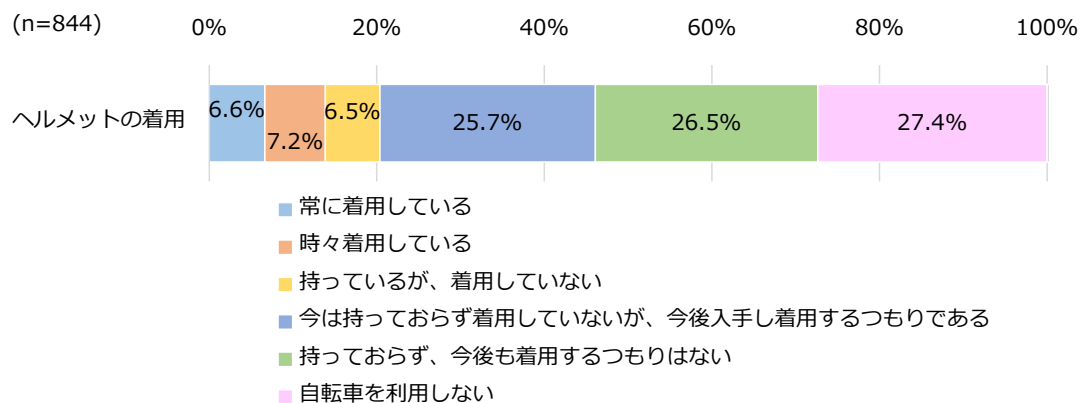


図 3-26 ヘルメットの着用有無(実績値)

4) ヘルメットを着用しない理由

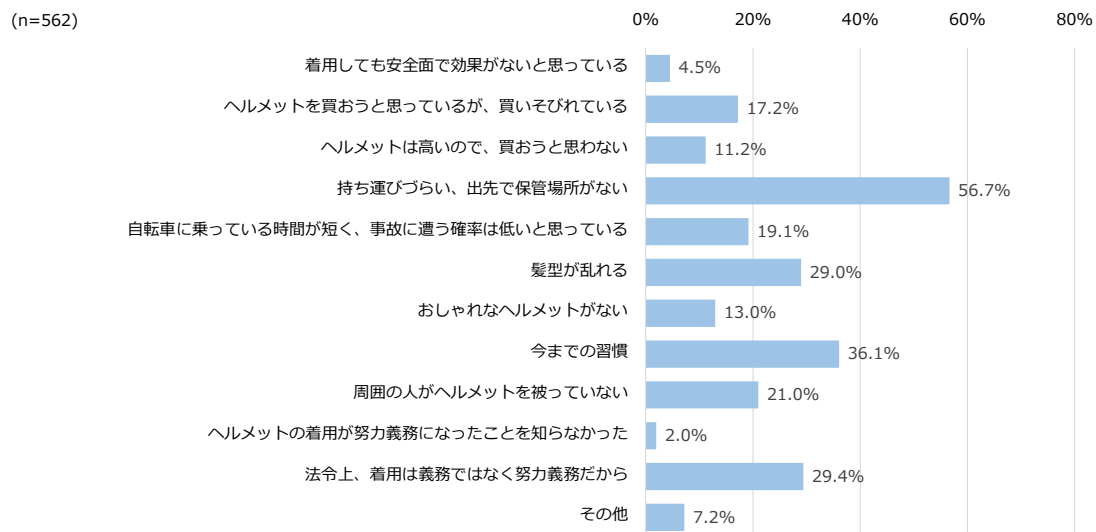


図 3-27 ヘルメットを着用しない理由(人口補正結果)

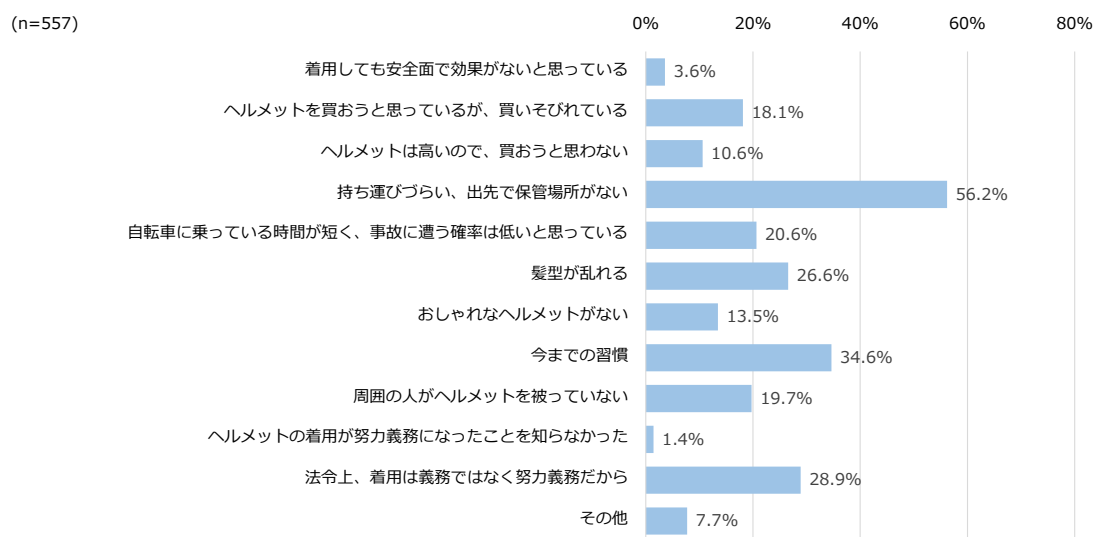


図 3-28 ヘルメットを着用しない理由(実績値)

5) 自転車活用によるまちづくりの方向性

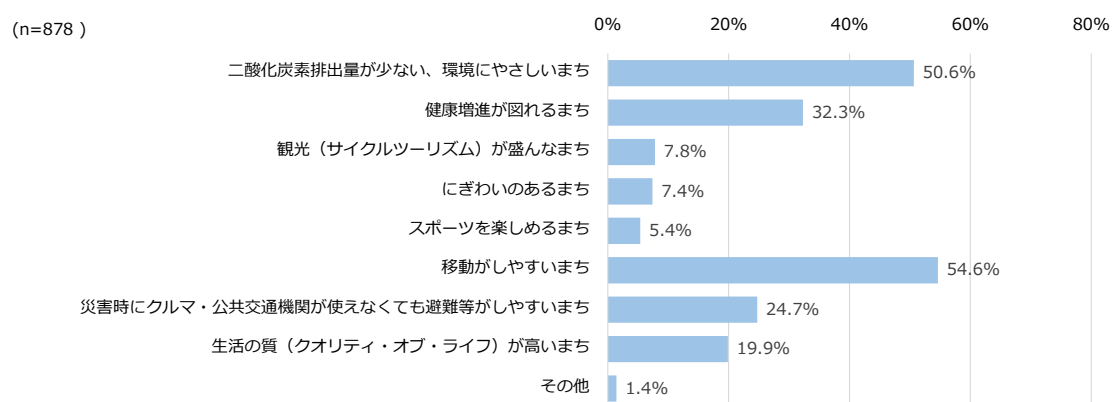


図 3-29 ヘルメットを着用しない理由（人口補正結果）

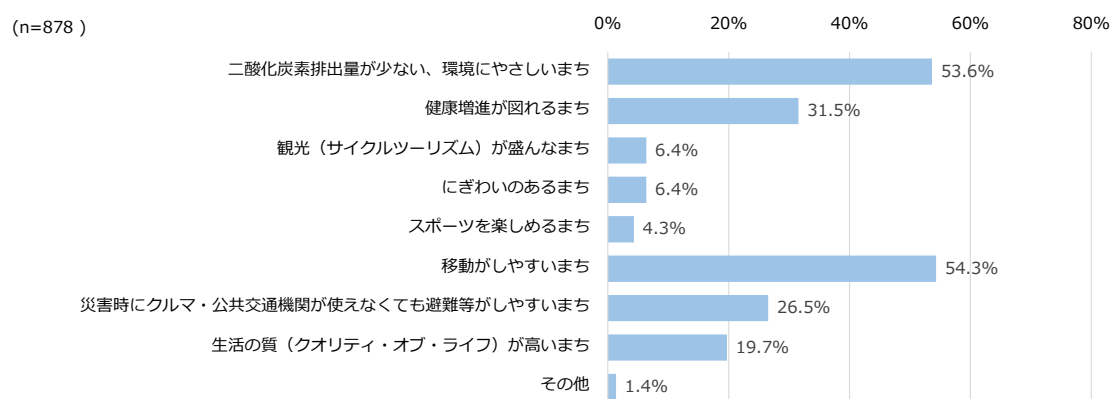


図 3-30 ヘルメットを着用しない理由（実績値）